

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000011069 A

(43) Date of publication of application: 14 . 01 . 00

(51) Int. Cl. G06F 19/00  
G07F 7/08

(21) Application number: 10176448

(22) Date of filing: 23 . 06 . 98

(71) Applicant: **IBIX KK**

(72) Inventor: ADACHI HIDEYUKI

(54) **PORTRABLE TERMINAL EQUIPMENT, WALLET SYSTEM, SETTLEMENT IN WALLET SYSTEM AND RECORDING MEDIUM**

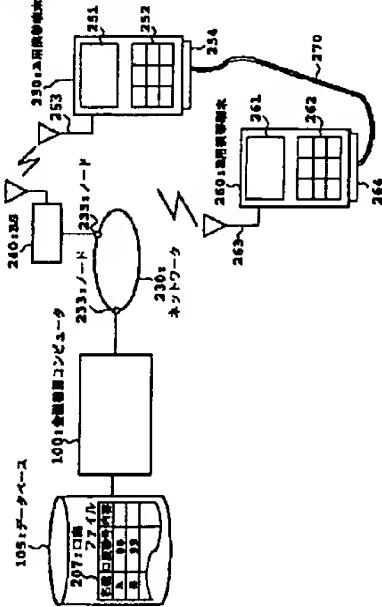
virtual wallet account to the portable terminal equipment 250 owned by A and displays the balance or the like in the display part 251.

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To unnecessary filling an IC card with electronic money and confirming electronic money balance or the like through the use of ATM or the like by permitting a host computer to transmit balance from an intrinsic account to a communication part and displaying transmitted balance in the display part of the portable terminal equipment when an authentication identifier transmitted from a portable terminal equipment is right.

**SOLUTION:** When an owner A inquires one's own virtual wallet account, for example, the recognition identifier as against one's own account number is inputted to the input part 252 of the portable terminal equipment 250 which is owned by A. The account number is previously stored at every portable terminal equipment and the account number and the recognition identifier are transmitted to a banking organ computer 100. When the recognition identifier for the account number of the virtual wallet account in the name of the owner in an account file 207 is right, the banking organ computer 100 transmits the contents (balance or the like) of the

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



THIS PAGE BLANK (USPS01)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 19/00  
G 0 7 F 7/08

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/30  
G 0 7 F 7/08

テーマコード(参考)  
3 6 0 3 E 0 4 4  
3 5 0 5 B 0 5 5  
Z

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-176448

(22)出願日 平成10年6月23日(1998.6.23)

(71)出願人 595091366

アイピックス株式会社  
東京都中野区弥生町4丁目34番8号

(72)発明者 足立 秀行

東京都中野区弥生町4-34-8 アイピックス株式会社内

(74)代理人 100077481

弁理士 谷 義一 (外3名)

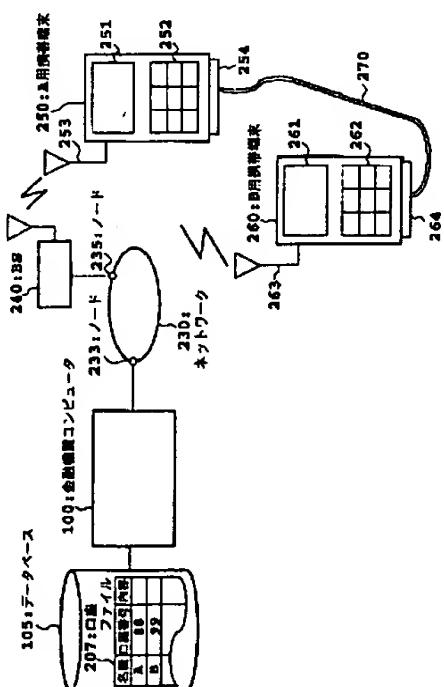
Fターム(参考) 3E044 AA20 CA03 DA03 DA06 DB02  
DE01 DE02 EA06 EB01  
5B055 BB12 CB09 EE12 EE13 EE27  
PA28

(54)【発明の名称】 携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体

## (57)【要約】

【課題】 金融機関コンピュータからATM等を利用して電子マネーをICカードへ充填することなく、さらに電子マネーの残高の確認、引き出し等のためにいちいちATM等を利用しなくて済む携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体を提供する。

【解決手段】 本発明の携帯端末装置は他の携帯端末装置と接続できる接続部を有しており、接続された他の携帯端末装置に固有の仮想ウォレット口座の口座番号を他の携帯端末装置から得ることができる。送金終了後、携帯端末装置からはこの口座番号は削除されるため、口座番号に対する安全性を高めることができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、

前記携帯端末装置の通信部と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムであって、

前記携帯端末装置は、前記固有のアカウントのアカウント識別子を予め記憶しており、

前記入力部は、前記固有のアカウントに対する認証識別子を入力し、

前記通信部は、前記固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信し、

前記ホスト・コンピュータは、送信された前記認証識別子が正当である場合は、前記固有のアカウントから残高を前記通信部へ送信し、

前記表示部は送信された前記残高を表示することを特徴とするウォレット・システム。

【請求項2】 請求項1記載のウォレット・システムにおいて、

前記携帯端末装置は、他の携帯端末装置と接続して該他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子を得る接続部をさらに有し、

前記入力部は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ送金する送金額をさらに入力し、

前記通信部は、前記他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記送金額とをさらに前記ホスト・コンピュータへ送信し、

前記ホスト・コンピュータは、送信された前記認証識別子が正当である場合は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ前記送金額を移し、前記表示部は、送金結果の確認を表示することを特徴とするウォレット・システム。

【請求項3】 請求項1または2記載のウォレット・システムにおいて、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを直接に接続することを特徴とするウォレット・システム。

【請求項4】 請求項1または2記載のウォレット・システムにおいて、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを無線により接続することを特徴とするウォレット・システム。

【請求項5】 請求項1または2記載のウォレット・システムにおいて、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを光通信により接続することを特徴とするウォレット・システム。

【請求項6】 請求項1ないし5のいずれかに記載のウォレット・システムにおいて、前記ホスト・コンピュ

タは金融機関コンピュータであり、前記携帯端末装置固有のアカウントは口座であることを特徴とするウォレット・システム。

【請求項7】 請求項1ないし5のいずれかに記載のウォレット・システムにおいて、前記ホスト・コンピュータはポイント・サービス・システムにおけるサーバ・コンピュータであり、前記携帯端末装置固有のアカウントはポイント・エントリであることを特徴とするウォレット・システム。

【請求項8】 データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置であって、

前記携帯端末装置は、前記携帯端末装置に固有のアカウントのアカウント識別子を予め記憶しており、

前記入力部は、前記固有のアカウントに対する認証識別子を入力し、

前記通信部は、前記固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信し、

前記表示部は、外部のホスト・コンピュータから送信された前記固有のアカウントの残高を表示することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項9】 請求項8記載の携帯端末装置において、前記携帯端末装置は、他の携帯端末装置と接続して該他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子を得る接続部をさらに有し、

前記入力部は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ送金する送金額をさらに入力し、

前記通信部は、前記他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記送金額とをさらに外部のホスト・コンピュータへ送信し、

前記表示部は、外部のホスト・コンピュータから送信された送金結果の確認を表示することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項10】 データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、前記携帯端末装置と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムにおける決済方法であって、

前記携帯端末装置に固有のアカウントに対する認証識別子を入力部が入力するステップと、

入力された前記認証識別子と予め記憶された前記携帯端末装置に固有のアカウント識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信するステップと、

送信された前記認証識別子が正当である場合に、前記携帯端末装置固有のアカウントから残高を前記通信部へ送信するステップと、

前記表示部が前記残高を表示するステップとを備えたこ

とを特徴とするウォレット・システムにおける決済方法。

【請求項11】データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、前記携帯端末装置と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムにおける決済方法であって、

前記携帯端末装置を他の携帯端末装置と接続するステップと、

接続された前記他の携帯端末装置に固有のアカウントのアカウント識別子を得るステップと、

前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置に固有のアカウントへ送金する送金額を入力するステップと、

前記携帯端末装置に固有のアカウントに対する認証識別子を入力するステップと、

前記送金額と前記他の携帯端末装置固有のアカウント識別子とを、前記携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子と共に前記ホスト・コンピュータへ送信するステップと、

送信された前記認証識別子が正当である場合に、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ前記送金額を送金するステップと、前記表示部が送金結果の確認を表示するステップとを備えたことを特徴とするウォレット・システムにおける決済方法。

【請求項12】請求項10または11記載のウォレット・システムにおける決済方法を実行するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】従来使用されている電子マネーは、ICカード等を利用した電子財布に電子マネーを充填したICカード型電子マネーであり、このICカード型電子マネーを使用して決済等を行なっていた。

【0003】図1は、従来のICカード型電子マネーを用いた決済方法を示す。

【0004】図1において、金融機関コンピュータ100は銀行等で決済に用いられるコンピュータであり、顧客のアカウント・ファイル、たとえば口座ファイル107等を有するデータベース105と、現金自動預け払い機(Automatic Teller's Machine: ATM)とが接続されている。金融機関コンピュータ100は、統合ディジタル・サービス通信網(Integrated Services Digital Network: ISDN)等のネットワーク130へノード1

33を介して接続している。ネットワーク130にはノード135を介して、例えばパーソナル・コンピュータ等のコンピュータPC140が接続され、PC140にはICカード180の読み取り器/書き込み器145が接続されている。同様にして、ノード137を介して、例えばコンピュータ160が接続され、コンピュータ160にはICカード180の読み取り器/書き込み器165が接続されている。

【0005】ICカード180の所有者は口座ファイル107に口座(不図示)を有しており、各地にあるATM(図1では例示のためATM103のみ示してある)を利用して、現金をICカード180に充填して電子マネー化したり、逆にICカード180内の電子マネーを現金化したり、口座ファイル107の口座に入金したりすることを行なっている。

【0006】ATMを使用しない場合には、ICカード180の所有者は、手元のコンピュータたとえばPC140から金融機関コンピュータ100に指示することにより、この口座から現金を電子マネー化する。電子マネーはネットワーク130を介してPC140に送られ、読み取り器/書き込み器145によりICカード180へ充填される(矢印183)。逆に、ICカード180にある電子マネーを読み取り器/書き込み器145で読み取って(矢印183)、PC140から金融機関コンピュータ100へネットワーク130を介して送り、口座ファイル107の口座に預金している。ICカード180の電子マネーを使用して買い物を行なう場合には、商店等のコンピュータ160に接続された読み取り器/書き込み器165によりICカード180の電子マネーを読み取り(矢印185)、残高を確認し、ICカード180から代金分だけ電子マネーを引き出す(矢印185)。引き出された電子マネーは、ICカード180の所有者の口座から商店等の口座へ移されて決済が行なわれる。

##### 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述のICカード型電子マネーを使用するためには、まず金融機関コンピュータから電子マネーをATMまたは読み取り器/書き込み器等を利用してICカードへ充填しなくてはならない。ICカード型電子マネーの残高の確認等のためにもいちいちATMまたは読み取り器/書き込み器を利用しなくてはならないという問題があった。

【0008】そこで、本発明の目的は上記問題を解決するためになされたものであり、ATM等を利用してICカードへ電子マネーを充填したりすることなく、さらにATM等を利用して電子マネーの残高の確認等をしたりしなくて済む携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体を提供することにある。

##### 【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、前記携帯端末装置の通信部と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムであって、前記携帯端末装置は、前記固有のアカウントのアカウント識別子を予め記憶しており、前記入力部は、前記固有のアカウントに対する認証識別子を入力し、前記通信部は、前記固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信し、前記ホスト・コンピュータは、送信された前記認証識別子が正当である場合は、前記固有のアカウントから残高を前記通信部へ送信し、前記表示部は送信された前記残高を表示するウォレット・システムである。

【0010】請求項2記載の発明は、請求項1において、前記携帯端末装置は、他の携帯端末装置と接続して該他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子を得る接続部をさらに有し、前記入力部は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ送金する送金額をさらに入力し、前記通信部は、前記他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記送金額とをさらに前記ホスト・コンピュータへ送信し、前記ホスト・コンピュータは、送信された前記認証識別子が正当である場合は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ前記送金額を移し、前記表示部は、送金結果の確認を表示することができる。

【0011】請求項3記載の発明は、請求項1または2において、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを直接に接続することができる。

【0012】請求項4記載の発明は、請求項1または2において、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを無線により接続することができる。

【0013】請求項5記載の発明は、請求項1または2において、前記接続部は、前記携帯端末装置と前記他の携帯端末装置とを光通信により接続することができる。

【0014】請求項6記載の発明は、請求項1ないし5のいずれかにおいて、前記ホスト・コンピュータは金融機関コンピュータであり、前記携帯端末装置固有のアカウントは口座とすることができる。

【0015】請求項7記載の発明は、請求項1ないし5のいずれかにおいて、前記ホスト・コンピュータはポイント・サービス・システムにおけるサーバ・コンピュータであり、前記携帯端末装置固有のアカウントはポイント・エントリとすることができる。

【0016】請求項8記載の発明は、データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末裝

置であって、前記携帯端末装置は、前記携帯端末装置に固有のアカウントのアカウント識別子を予め記憶しており、前記入力部は、前記固有のアカウントに対する認証識別子を入力し、前記通信部は、前記固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信し、前記表示部は、外部のホスト・コンピュータから送信された前記固有のアカウントの残高を表示する携帯端末装置である。

【0017】請求項9記載の発明は、請求項8において、前記携帯端末装置は、他の携帯端末装置と接続して該他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子を得る接続部をさらに有し、前記入力部は、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ送金する送金額をさらに入力し、前記通信部は、前記他の携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記送金額とをさらに外部のホスト・コンピュータへ送信し、前記表示部は、外部のホスト・コンピュータから送信された送金結果の確認を表示することができる。

【0018】請求項10記載の発明は、データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、前記携帯端末装置と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムにおける決済方法であって、前記携帯端末装置に固有のアカウントに対する認証識別子を入力部が入力するステップと、入力された前記認証識別子と予め記憶された前記携帯端末装置に固有のアカウント識別子とを前記ホスト・コンピュータへ送信するステップと、送信された前記認証識別子が正当である場合に、前記携帯端末装置固有のアカウントから残高を前記通信部へ送信するステップと、前記表示部が前記残高を表示するステップとを備えたウォレット・システムにおける決済方法である。

【0019】請求項11記載の発明は、データを入力する入力部、データを表示する表示部および外部のホスト・コンピュータと通信を行なう通信部を有する携帯端末装置と、前記携帯端末装置と通信を行ない、前記携帯端末装置毎に固有のアカウントを有するホスト・コンピュータとを備えたウォレット・システムにおける決済方法であって、前記携帯端末装置を他の携帯端末装置と接続するステップと、接続された前記他の携帯端末装置に固有のアカウントのアカウント識別子を得るステップと、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置に固有のアカウントへ送金する送金額を入力するステップと、前記携帯端末装置に固有のアカウントに対する認証識別子を入力するステップと、前記送金額と前記他の携帯端末装置固有のアカウント識別子とを、前記携帯端末装置固有のアカウントのアカウント識別子と前記認証識別子と共に前記ホスト・コンピュータへ送信す

るステップと、送信された前記認証識別子が正当である場合に、前記携帯端末装置固有のアカウントから前記他の携帯端末装置固有のアカウントへ前記送金額を送金するステップと、前記表示部が送金結果の確認を表示するステップとを備えたウォレット・システムにおける決済方法である。

【0020】請求項12記載の発明は、請求項10または11記載のウォレット・システムにおける決済方法を実行するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0022】図2は、本発明のウォレット・システムの概要を示す。

【0023】図2において、図1と同じ符号を付した部分は図1と同じ機能を有する部分であるため、説明は省略する。以下、本実施の形態ではアカウントの例として口座を用いて説明する。

【0024】口座ファイル207には、名義が所有者Aで口座識別子が88の口座（以下「仮想ウォレット口座」という）と、名義が所有者Bで口座識別子が99の仮想ウォレット口座が例示されている。口座識別子としては、たとえば口座番号を用いることができる。以下の説明では口座識別子として口座番号を使用しているが、口座番号以外の識別子たとえばID等であってもよいことはもちろんである。金融機関コンピュータ100はノード233を介してISDN等のネットワーク230に接続され、ネットワーク230にはノード235介して基地局(Base station: BS)240が接続されている。

【0025】BS240は、A所有の携帯端末装置250、B所有の携帯端末装置260と、各々アンテナ253、アンテナ263により無線接続されている。携帯端末装置250は、上述のアンテナ253、液晶画面等の表示部251、データを入力できる入力部252および他の携帯端末装置と接続できる接続部254を有している。同様にして携帯端末装置260は、上述のアンテナ263、液晶画面等の表示部261、データを入力できる入力部262および他の携帯端末装置と接続できる接続部264を有している。

【0026】所有者Aが自己的仮想ウォレット口座の照会をする場合は、A所有の携帯端末装置250の入力部252に自己の口座番号（88）に対する認証識別子、例えば暗証番号を入力する。口座番号（88）は携帯端末装置毎に予め記憶されており、この口座番号（88）と入力された認証識別子とがアンテナ253を介してBS240に送られ、ネットワーク230のノード235、233を介して金融機関コンピュータ100へ送られる。金融機関コンピュータ100は、口座ファイル

207中にある所有者A名義の仮想ウォレット口座の口座番号（88）に対する認証識別子が正当である場合には、仮想ウォレット口座の内容（残高等）をネットワーク230を介してA所有の携帯端末装置250へ送信する。送信された仮想ウォレット口座の内容（残高等）は、表示部251上に表示される。

【0027】所有者Aが買い物等をして、自己の仮想ウォレット口座から他の例えば所有者Bの仮想ウォレット口座へ送金する場合は以下のように行なう。

10 【0028】まず所有者Aの携帯端末装置250を所有者Bの携帯端末装置260と接続する。図2の例では、接続はAの携帯端末装置250側の接続部254とBの携帯端末装置260側の接続部264とを接続用のケーブル270により行なっている。しかしこれは単なる例示にすぎず、接続部254と接続部264とを直接接続することも可能である。さらに、接続部254と接続部264とを無線通信または光通信により接続することも可能である。

【0029】次に、接続されたBの携帯端末装置に固有の仮想ウォレット口座の口座番号をBの携帯端末装置から得る。仮想ウォレット口座の口座番号は、各携帯端末装置に固有のものであるため、接続によって得ることができる。したがって、BはAに自分の仮想ウォレット口座の口座番号を口頭で教える等のことをしなくても済むため、Bの口座番号に対する安全性を高めることもできる。送金終了後、Aの携帯端末装置250からはBの口座番号は削除されるため、さらにBの口座番号に対する安全性を高めることもできる。

【0030】Aは、自分の仮想ウォレット口座からBの仮想ウォレット口座へ送金する送金額を入力部252から入力する。Aが自己的仮想ウォレット口座（図2の例では口座番号99）に対する認証識別子、例えば暗証番号を入力するのは、上述の照会の場合と同様である。送金額とBの仮想ウォレット口座の口座番号（図2の例では99）は、Aの仮想ウォレット口座の口座番号（88）と認証識別子と共に金融機関コンピュータ100へ送信される。

【0031】金融機関コンピュータ100は、送信された認証識別子が正当である場合、Aの仮想ウォレット口座からBの仮想ウォレット口座へ送金額で示される額だけ送金する。送金が終了すると、この送金結果はAの携帯端末装置250に送信され、表示部251に表示される。この表示によりAは送金を確認することができる。送金結果はBの携帯端末装置260にも送信され、表示部261に表示される。この表示によりBは入金を確認することができる。Bが後に自分の仮想ウォレット口座に照会して入金の確認をすることは、上述した照会の説明より当然である。このようにして、従来の電子マネーのように金融機関から電子マネーをICカードへ充填しなくとも済む。

【0032】上述の実施の形態では、Aの携帯端末装置250とBの携帯端末装置260とを接続して送金を行なったが、Aの携帯端末装置250を金融機関コンピュータ100と無線によりネットワーク230を介して接続し、同時にBの携帯端末装置260を金融機関コンピュータ100と無線によりネットワーク230を介して接続して、リアル・タイムに送金を実行することもできる。したがって、Aの携帯端末装置250とBの携帯端末装置260とが互いに無線等で接続ができない場合でも、両装置がBS240等と無線接続できれば送金等が可能である。

【0033】以上の実施の形態の説明では、アカウントの例として口座を用いて説明したが、これに限定されるものではないことはもちろんである。

【0034】たとえば、商店等における購入額に応じてポイントを増やしていくポイント・サービス・システムの場合、金融機関コンピュータのかわりに商店等の有するサーバ・コンピュータを、アカウントとして口座のかわりに購入者のポイント・エントリをとり上げることができる。

#### 【0035】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体によれば、携帯端末装置同士を接続することにより、金融機関コンピュータからATM等を利用して電子マネーをICカードへ充填することなく、電子マネーの残高の確認、引き出し等のため

にいちいちATM等を利用しなくて済む携帯端末装置、ウォレット・システム、ウォレット・システムにおける決済方法および記録媒体を提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

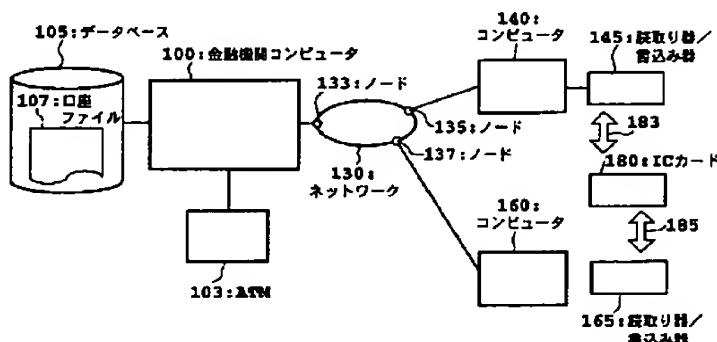
【図1】従来のICカード等を用いた電子決済方法を示す図である。

【図2】本発明のウォレット・システムの概要を示す図である。

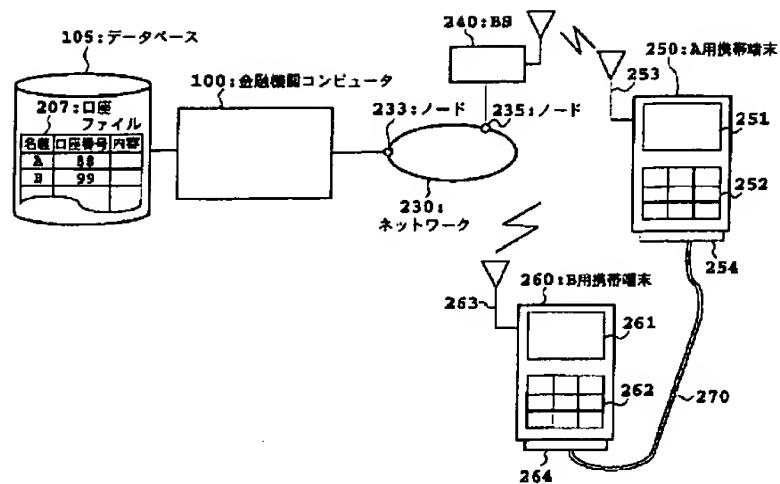
#### 【符号の説明】

10	100 金融機関コンピュータ
	103 ATM
	105 データベース
	107、207 口座ファイル
	130 ネットワーク
	133、135、137、233、235 ノード
	140 PC
	145、165 読み取り器／書き込み器
	160 コンピュータ
	180 ICカード
20	240 BS
	250、260 携帯端末装置
	251、261 表示部
	252、262 入力部
	253、263 アンテナ
	254、264 接続部
	270 接続ケーブル

【図1】



【図2】



THIS PAGE BLANK (USPS44)